



つくる、つなぐ、つどう、まちコミュニティ。 NPO法人 いながわりリンク

■参画協働 ■交流促進 ■情報収集・提供 ■相談支援 ■運営管理

*現状・課題：猪名川町は南北に長く、北は代々住み続ける地元の人が多い山間部、南は引っ越してまだ浅い比較的若年層の多い新興住宅地であり、生活様式が地域間で異なる。人口減少、特に子どもの数が年々少なくなっている山間部地域では、中学校の統合再編など行われ高齢化が進む。さらにコロナ禍や財政難の影響で、行政が担う地域のイベントは軒並み縮小傾向になっている。このままでは世代による生活の分断にも拍車がかかり、関係は希薄になる一方である。

*目的・趣旨：地元の人たちが所有する竹やぶから切り出した竹を活用してキャンドルを作ったり、子どもが絵を描いたシェードを使ったりすることで、多世代が関わり合い、地域や世代をつなげることができる。その場所として、猪名川の源流にほど近い山間部の地域資源（ホタルも生息する！）を活用することで地域間交流、地域の魅力を広く知ってもらう。自主的に参加できるイベントを実施することは、郷土愛を育むことにもつながる。

*対象：自治会などの地縁団体、地域で活動する個人や団体、地域住民、子どもや学生など

結果として、年2回、6月に猪名川町中北部にあるふるさと館、12月に中南部にある日生中央駅前広場にて開催

【6月】

*駐車場前：楊津まち協トラックマルシェ(野菜市/餅つき/焼そば)、キッチンカー(リンク登録ショップ/BERRY HOUSE)

*芝生広場：事前や当日にワークショップで作ったペットボトルキャンドルシェードの装飾、ステージ演出

*やないづの館：キャンドルシェードお絵描きワークショップ

【12月】

6月に作った竹キャンドルをメインステージの装飾として活用し、寄附資材のイルミネーションと競演。猪名川町観光協会のイベントとも同時開催し、竹灯籠、焚き火、イルミネーションの灯りが融合してまさにテーマに沿ったイベントに繋がられた。ステージでは、子ども達のバトンやダンス、ハンマーダルシマー演奏など多世代で活躍、多数のキッチンカーやワークショップ等でも賑わいを見せた。

*協力・連携：地縁団体/楊津まちづくり協議会、行政/猪名川町、猪名川町教育委員会、ふるさと館、近隣の幼小中高（後援、チラシ配布、キャンドルシェード作成）、その他/観光協会（告知協力）、つつじがおか食堂（キャンドルシェード作成）、小中高生バトンチーム、ダンス教室などの出演

・自団体のみでの開催ではなく、地縁団体などと一緒にすることで地域間の交流のきっかけづくりとなり、比較的高齢者の多い地縁団体と新興住宅地の移住者とが、関わり合いを深め合える多世代交流ができた。

・町内2か所で夏と冬の2回に渡り、テーマを繋げてのイベントを実施することで、地域の一部だけでなく全体での盛り上がり感を作り出すことができた。

